

産業（3部門）別就業人口の推移（1980年～2010年）

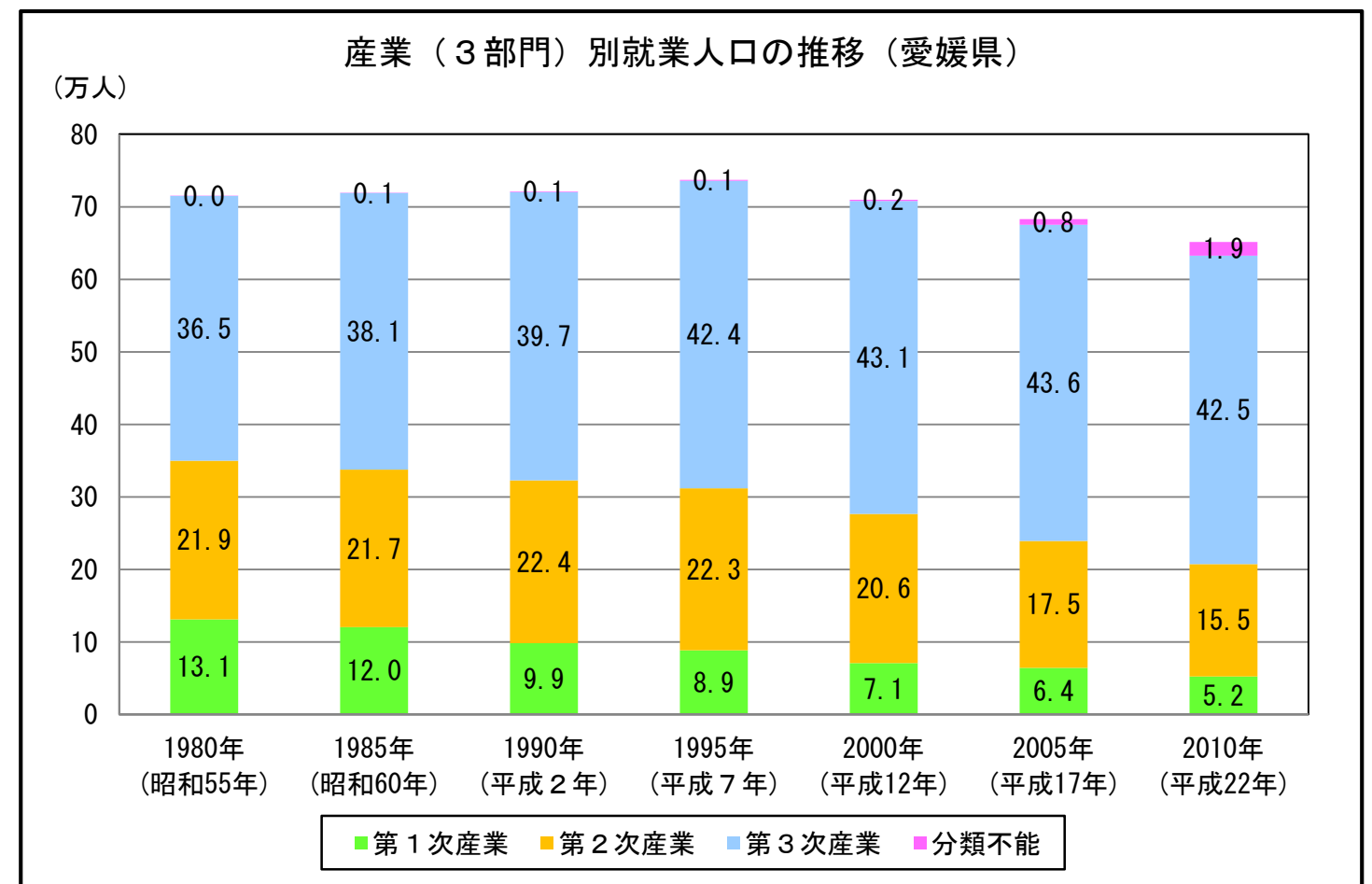
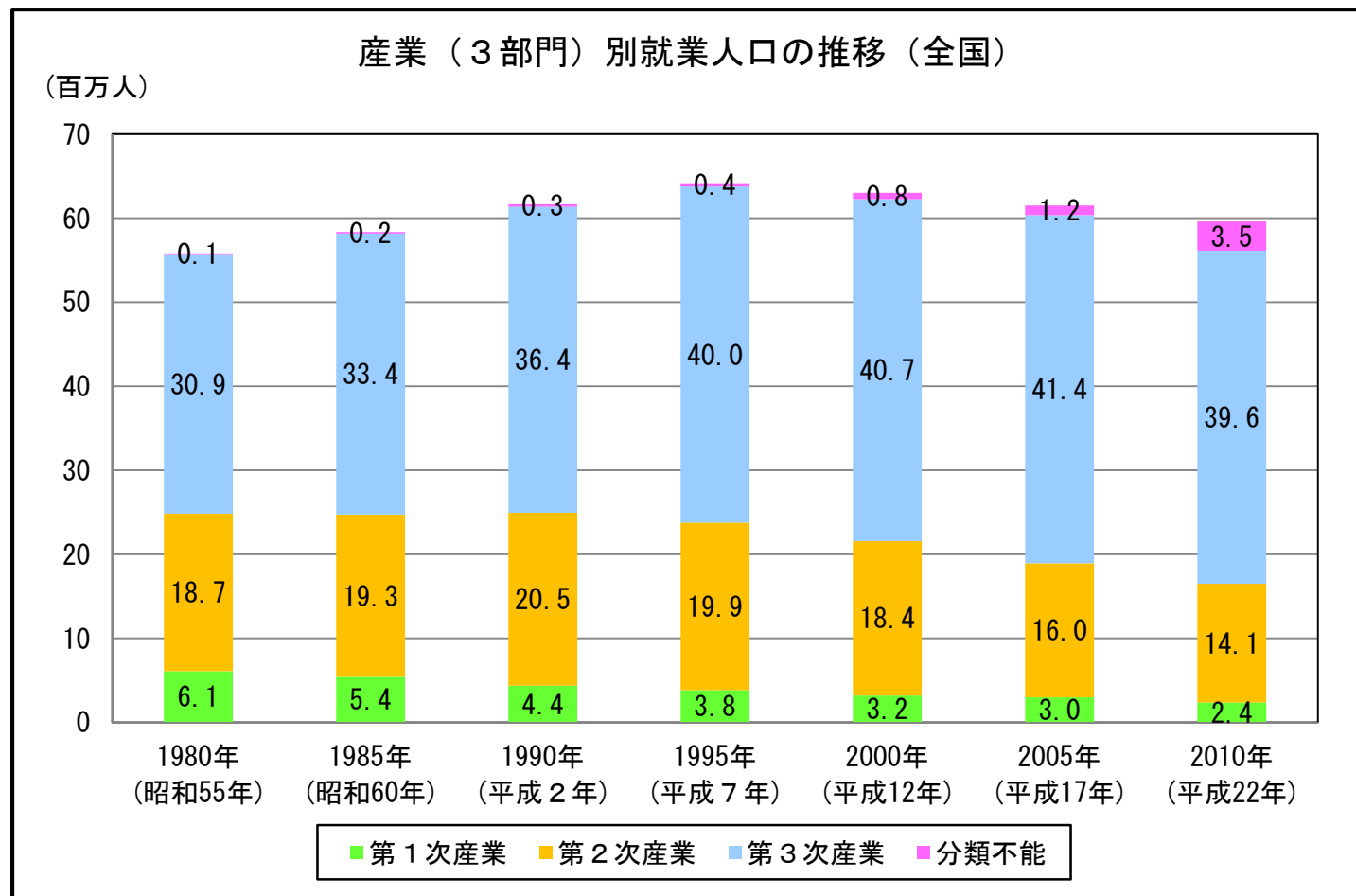
資料3

- 本県の就業人口は国同様、1995年（平成7年）から減少しており、2010年（平成22年）と比較すると、11.6%（85.3千人）減少。
- 第1次産業の就業人口は、全国と同様、減少傾向にあるものの、産業に占める割合は全国平均と比較して2倍の8.0%となっているが、就業人口は最も構成比の高かった1980年（昭和55年）と比較すると、60.0%（78.6千人）減少。
- 第2次産業の就業人口は、1990年（平成2年）から減少しており、産業に占める割合は全国平均とほぼ同じの23.8%となっているが、就業人口は最も構成比の高かった1990年（平成2年）と比較すると、31.0%（69.6千人）減少。
- 第3次産業の就業人口は、2005年（平成17年）までは増加しており、産業に占める割合は全国平均とほぼ同じの65.3%。就業人口は最も構成比の高かった2005年（平成17年）と比較すると、2.4%（10.5千人）減少。

		1980年 (昭和55年)	1985年 (昭和60年)	1990年 (平成2年)	1995年 (平成7年)	2000年 (平成12年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)
第1次産業	全国	6,101,587 10.9%	5,412,193 9.3%	4,391,281 7.1%	3,848,000 6.0%	3,208,000 5.1%	2,980,831 4.8%	2,381,415 4.0%
	愛媛	131,058 18.3%	120,402 16.7%	98,555 13.7%	88,552 12.0%	70,957 10.0%	64,399 9.4%	52,430 8.0%
第2次産業	全国	18,737,426 33.6%	19,334,215 33.1%	20,548,086 33.3%	19,936,000 31.1%	18,392,000 29.2%	15,957,225 25.9%	14,123,282 23.7%
	愛媛	218,969 30.6%	217,183 30.2%	224,488 31.1%	223,397 30.3%	205,711 29.0%	175,081 25.6%	154,858 23.8%
第3次産業	全国	30,910,757 55.4%	33,444,306 57.3%	36,421,356 59.0%	40,004,000 62.3%	40,671,000 64.5%	41,424,613 67.3%	39,646,316 66.5%
	愛媛	364,895 51.0%	381,387 53.0%	397,464 55.1%	423,740 57.5%	431,364 60.8%	435,779 63.8%	425,321 65.3%
分類不能	全国	61,539 0.1%	166,518 0.3%	320,919 0.5%	395,000 0.6%	761,000 1.2%	1,167,533 1.9%	3,460,298 5.8%
	愛媛	499 0.1%	673 0.1%	674 0.1%	1,230 0.2%	1,575 0.2%	7,585 1.1%	18,996 2.9%
計	全国	55,811,309	58,357,232	61,681,642	64,183,000	63,032,000	61,530,202	59,611,311
	愛媛	715,421	719,645	721,181	736,919	709,607	682,844	651,605

注1 総務省統計局「国勢調査報告」の数値を基に算出。

注2 「分類不能」は、主として調査票の記入が不備で、いずれに分類すべきか不明の場合又は記入不詳で分類しえないもの。



県内産業における年齢別の構成割合（2010年）

○県内の就業人口の20.9%は60歳以上。また、就業者の65.3%は第3次産業に就業しているが、年齢層別で見ると70歳以上の48.2%が第1次産業に就業。

○地方別では、以下の特徴が見られる。

（東予地方）70歳以上以外の年齢層では産業別の割合がほぼ同じ。全体での第2次産業の割合が県内全域よりも9.5%高い。

（中予地方）第3次産業への就業が中心であるが、70歳以上では43.8%が第1次産業に就業。

（南予地方）第1次産業への就業割合が他の地方と比べて高く、特に70歳以上では63.2%が第1次産業に就業。

